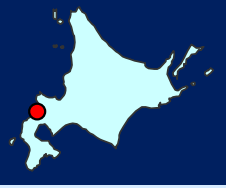
第3種 寿都漁港
（北海道寿都町）

寿都地区特定漁港漁場整備事業計画

寿都地域マリンビジョン策定（モデル地域）

寿都島牧圏域
流通拠点



現状と課題

・ホタテガイ・カキ養殖漁業に必要な用地が不足しており、非効率な作業が行われている。また、野天での陸揚げ・出荷作業のため、鳥糞などの混入や直射日光などによる品質低下が生じている。
・寿都島牧圏域の流通拠点漁港であるものの、耐震性能が強化された岸壁がないため、大規模災害発生後において、漁業活動が長期間休止するおそれがある。

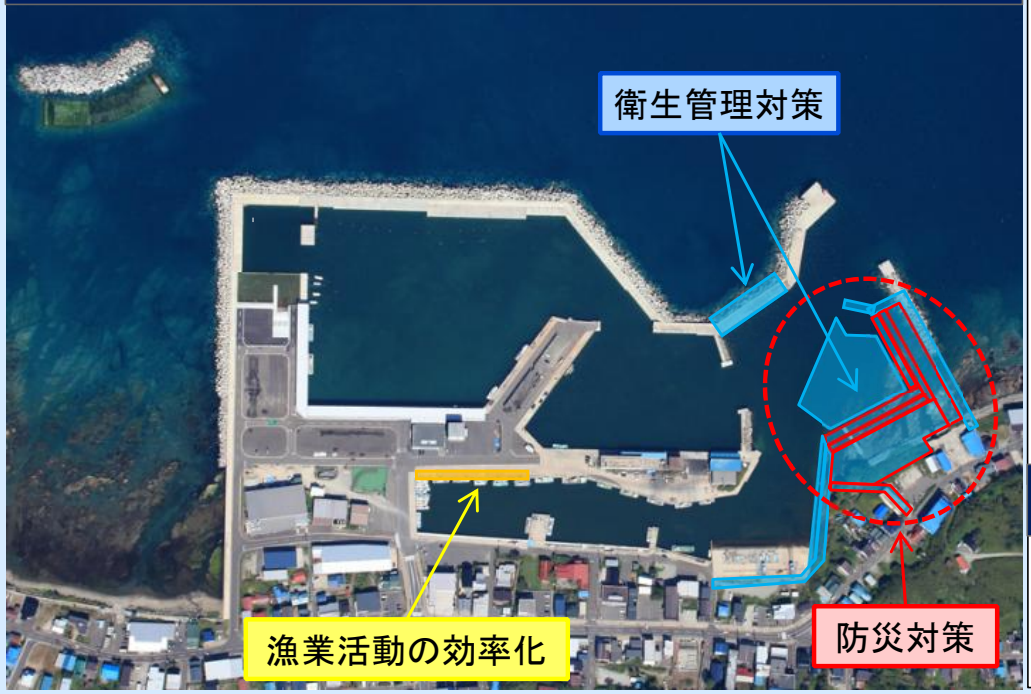
港　勢　（R5港勢調査）

登録漁船：80隻
利用漁船：93隻
（内、外来漁船：13隻）
属地陸揚量：1，372トン
属地陸揚金額：3．7億円
主な魚種：ホッケ、サケ
組合員数：60人

◎寿都漁港の役割

・ホッケ底建網等の沿岸漁業及びホタテガイ養殖漁業の生産拠点
・周辺漁港から水産物が集約される流通拠点

主　要　対　策



主な整備方針

・ホタテガイ・カキ養殖漁業の陸揚げ、出荷作業時における衛生管理対策の強化を図るため、屋根付き岸壁、用地などを整備する。また、港内静穏度の向上を図るため、防波堤の嵩上げ改良を行う。
・大規模災害発生後の水産業の早期再開のため、耐震性能を強化した岸壁を整備するとともに、岸壁に接続する道路・用地の液状化対策を行う。
・物揚場における作業の安全性及び効率性の向上を図るため、エプロン勾配を緩和する改良を行う。

基本事項

全体事業費：61．4億円
事業期間：H29～R12

主要な対策①：衛生管理対策

野天での陸揚げ・選別・出荷作業状況

漁港外での網外し・選別作業状況

主要な対策②：防災対策

漁船を使用した避難訓練状況（イメージ）

緊急物資輸送状況（イメージ）